

## 1 国道 161 号 小松拡幅 13 工区 環境影響評価準備書に係る公聴会 議事概要

- 2
- 3 1 日 時 令和 5 年 12 月 9 日 (土) 13:00 ~ 14:00
- 4 2 場 所 高島公民館 小ホール (高島市勝野 670 番地)
- 5 3 出席者 議長 (環境政策課長)、公述人 4 名、傍聴者 14 名
- 6 4 内 容

7 国土交通省近畿地方整備局が、高島市勝野から大津市北小松にかけて整備を予定する  
8 バイパス整備事業 (延長: 約 4.3km、4 車線道路) について、標記準備書または見解書に  
9 対して環境保全の見地からの意見を述べることを希望する公述人を募集したところ、4  
10 名の方から公述の申出があった。

11 このため、当該 4 名を公述人と選定し、公聴会を開催したところ、各公述人の意見の概  
12 要は以下のとおりであった。

13 なお、意見の一部については、個人情報保護の観点から、個人が特定されない記述とし  
14 ている。

15  
16 **【公述人 1】**

17 私は、高島市鷺川に在住しており、去年、計画されています国道 161 号線のコースに  
18 ついて説明がありました。私は、その時に、初めてそのコースの内容を聞きましたが、現  
19 国道から、湖西線までの間の広い田畑が広がっている所を横切り、湖西線をまたいで山の  
20 方に向かって道路が通るということでした。そのようなコースに関しまして、私が思った  
21 内容を報告させていただきます。

22 まず、田畑が広がる場所を横断するというので、どうしても環境への問題があります。  
23 私も湖西線の東側に田んぼを保有していますが、湖西線の高架により西日がなかなか差  
24 し込まず、田んぼの色がなかなか変化しないというような日照障害が出ております。その  
25 ような中、また高いバイパスができることはなかなか賛成できないと思っています。

26 また、私の家の前に湖西線が走っていますが、当然、電波障害は今現在も発生していま  
27 す。対策としてアンテナ等の高さ調整をしてもらいましたが、なかなか結果が出ておらず、  
28 またこのバイパスが整備されると、どのような障害が発生するのか、憂慮しています。

29 それから、私は仕事帰りに安曇川方面から 161 号線を走行していますが、車の台数が  
30 大変多く感じています。安曇川方面から帰ってきますと、南から北上してくる車が沢山あ  
31 り、なかなか家の方向に右折できず、道路中央で何分も待っており、後続車の追突の可能  
32 性を怖く感じています。

33 そういうようなことで、交通も交通事故も大変心配しており、国道の方を優先に考えて  
34 いただきたいと思っています。なぜ車が多いかといいますと、白鬚神社が観光ガイドに大  
35 きく掲載されて以降、車の交通が大変多くなっているように感じます。

36 私の考えは、バイパスは山際に通るよりも現国道の方に走っていただきたい。山際のル

37 ートは鵜川への利点が全くありません。だから現在の国道の方を走ってもらわないと、これ  
38 から交通事故等が依然と発生すると考えています。

39 白鬚神社にも右折で進入する人が未だにいます。左折進入だけにしてもらわないと、白鬚  
40 神社への右折進入はどうしても後続車の追突のほか、色々な交通障害が発生すると考えら  
41 れますので、その点も併せて考えていただきたいと思います。例えば、アンダーパスを通し  
42 道の下を通り抜けて左折で現国道から集落の方に帰れるようなことも検討いただきたいと  
43 思います。これからのバイパスの改善につなげていただきたいと思っております。

44

#### 45 【公述人 2】

46 私も同じく高島市鵜川に住んでおります。私は宝塚の出身でこの地を気に入り 30 年ほ  
47 ど前から建物を建て農園等をやっています。その当時から国道 161 号の拡幅計画はあり、  
48 農園の土地を取得する時に都市計画的な問題の有無が気になり、今からだいぶ前になり  
49 ますが、滋賀国道事務所さんにもお伺いして、この計画道路の概要をお聞きしたことがあ  
50 ります。その時には、都市計画法に則って現国道を拡幅するという詳細な道路計画図をお  
51 見せいただきました。ちょうど今、北小松からトンネルを抜けて、そこから降りてきて高  
52 島市に入ると現国道がそのまま拡幅されると。こと細かに説明もいただきました。そうい  
53 った経緯もあり、ここのこの棚田の景観が素晴らしいと思い、私はこの景観に感動し、気  
54 に入り、土地を購入して現在に至っています。

55 いったん都市計画法で決定され、用地買収まで済んでいる現国道の拡幅ルート案が突  
56 如として、山側のバイパス案に変わり、棚田を分断するような環境破壊の計画が出てきま  
57 した。私は本当に驚きました。いったん都市計画法で決定され用地買収まで済んでいると  
58 いうことは、その鵜川地区の住民の持っている土地も抛出されている訳です。以前、説明  
59 会が、この大ホールであったときには、今回の山側へのルート変更は、鵜川地区の住民の  
60 要望でもあるというような言い方をされましたが、私たちは全く知りません。公述人 1 の  
61 方は、集落で生まれ育ってこられた方ですけれども、その方にも知らされてない。知らさ  
62 れてないのに、どうして集落の要望ということになるのでしょうか。非常に不可解な計画  
63 だなと思いました。白鬚神社の前の交通量等の問題、また湖岸の埋め立ての問題は理解が  
64 できないことはありません。他に方法はあると思いますが、理解できないことはないです  
65 が、この鵜川地区に限っては、誠に不可解だなと感じます。必然性が全く感じられません。  
66 わざわざトンネルを抜いて北小松から出てきた道路を、湖岸の方に向かった道路を、また  
67 山の方に、非常に短い 2~3km の区間を、再度 JR を跨ぎ山側に持ってくるというのは、  
68 ものすごい大きな工作物になると思います。景観的にも 10~20m 超の高さの道路が、い  
69 きなり棚田の真ん中を通るといふ。

70 あの里山という言葉がありますが、ここは滋賀県で有名な写真家の今森光彦さんがい  
71 らっしゃって、里山についての論もたくさんされています。また、前知事の嘉田さんも環  
72 境分野に詳しい方ということで、そのお二人がこの鵜川の棚田を訪れて、「守っていくべ

73 き棚田ですよね」と仰いました。嘉田さんは先日もお越しいただき、「守っていかなけれ  
74 ばいけないですよ。頑張りましょうね。」と仰いました。それがどうしてこういうこと  
75 になるのか。非常に不思議だなと思います。鶴川の棚田は、同じ国家機関である農水省が  
76 「つなぐ棚田」として認定されています。子孫が大人になって、この気候変動や地球規模  
77 での環境破壊が非常に問題になっているときに、子どもたちが大きくなったときに、反自  
78 然の象徴みたいな巨大なコンクリートの建造物が、棚田を貫くというのは、そしてこの棚  
79 田は、私が聞いたのは、もう 500 年くらい前の室町時代からこの石垣を積んだ棚田が現  
80 存していたこと。そこから皆さんが先祖の方々が今まで守り育ててきた、そういう棚田な  
81 んです。まさに、今森さんが仰るように、人と自然が織りなす、そういう景観、環境です。  
82 これを環境破壊と言わなくてどう言うのでしょうか。農水省はこの棚田を保全して守っ  
83 ていこうということで認定をされたにも関わらず、同じ国家機関の国土交通省は国土の  
84 ことを考える国家機関ではないのでしょうか。もともとは運輸省でしたが、今や国土交通省  
85 なのですから、単に道を通すために、そこのけそこのけで 500 年以上も同じ日本人が汗  
86 水を垂らして、そしてつくり上げた景観、日本の原風景です。災害にも強いんです。棚田  
87 は治水効果がすごいんです。そして棚田の米はすごくおいしいんです。今、米農家の後継  
88 者不足で、日本は食糧危機を迎える可能性があります。そういう中でも守り育てていかな  
89 ければならない棚田。日本の未来に守っていかないといけない。今、何でも反自然に向か  
90 っていますが、最後に守っていかねばならない象徴の一つではないかと思います。

91 滋賀県には琵琶湖があります。それが滋賀県です。琵琶湖の美しさを形成している大き  
92 な里山の要素として、棚田が存在します。多様な生物がいます。私たちは無農薬無肥料で  
93 お米を育てていますけども、今や絶滅されたと言われたゲンゴロウが帰ってきています。  
94 タイコウチもいます。そんな生物がいっぱい帰ってきています。それは、今まで人間が破  
95 壊してきた中でも保全しようとするれば保全できるということの証です。でも、このような  
96 巨大なコンクリートで棚田を潰してしまったら、それはもう不可能になってしまいます。

97 そして、私たちは棚田の上で子どもたちのための活動をやっておりますが、子どもたち  
98 が自然に触れて、琵琶湖を臨む美しい情景の中で時間を過ごすという、そういう時間さえ  
99 も奪ってしまうことになっていきます。これは国の施策とか、県が同意しているということでは  
100 済まされないことではないでしょうか。世界的に環境の保護が叫ばれている中で、全く反  
101 自然な全く環境無視の計画だと、言わざるを得ないと思います。

102 こういう計画を、また今回のこの公聴会にしても、普段全く知らされることがありませ  
103 ン。まるで秘密裏に物事が進められているかのように粛々と進められていきます。

104 先ほど環境影響評価審査会の話もありましたが、当事者は全く無視されています。暮ら  
105 し、里山という、人と自然の、そういう緩衝帯での暮らしを享受している、その暮らしの  
106 真っ只中にいる人たちこそが、環境についていやでも毎日触れて過ごしてるわけですか  
107 ら、そういう人たちの意見を全く聞かなくて、審査会で決めたら OK。そういうことで良  
108 いのでしょうか。民主主義というのは、民が主のはずですが、どうもこの計画においては、

109 そういうふうになっていないと考えざるを得ないと思います。どうか、人が傲慢になって、  
110 どんどん自然を破壊して行って、そして取り返しがつかない。そういう状態になる前に何  
111 とかしなきゃいけない時期が来ていると思います。世界的な気候変動も、これは人間が作  
112 り出したものです。人間が存在することによって、他の生き物がいっぱい絶滅してきてい  
113 ます。それはちょっとぐらいはと。それよりももっともって経済的にとか、そういうこと  
114 で人間の傲慢が作り出したものだと思います。今回の計画もその一つであることは間違  
115 いありません。白鬚神社の交通の問題、これは理解できます。近くに住んでいて、人が死  
116 んだりするのを聞いているわけですから。それにしても、だからといって、環境はどうでも  
117 いいということではないと思います。そして、琵琶湖、琵琶湖ということで、その琵琶湖  
118 を言い訳にするような計画でしかない。日々そこに暮らしている人たちのその暮らしを  
119 本当真っ向から見つめて、でもこうだというお示しが全くない。ルートは初めから一つに  
120 決まっていて、選択の余地もない。そして説明会では、ルートはもう決定しましたけども  
121 構造体はまだこれからだからと。どうしてそういうことになるんでしょうか。そのルート  
122 を決定する前に、我々ももっと話があって、もっと環境面や、景観面の問題、そういうと  
123 ころ、これは単に地域だけの問題ではなく国全体の国土に関わる問題だと思います。国土  
124 を形成している景観をいたずらに駄目にしてしまう。そういう可能性がもしあるならば、  
125 踏みとどまってもう少し考えて、他にルートはないものか。もう少し、こんな方法はない  
126 のかとか、そういうところを住民と一緒に考えていただける、それが国土交通省で  
127 はないでしょうか。運輸省ではないんですから。しかも、農水省と同じ省庁と横の連携も  
128 あるとは思えません。農水省は守り育てていこうと、日本の原風景、棚田百選ということ  
129 で選定されましたし、棚田というのは日本の誇るべき、世界に誇るべき景観であり、文化  
130 の一つです。

131 先ほども申し上げましたが災害に強いです。治水効果がすごいんです。だから土石流の  
132 発生のあるような地域でも棚田があるところについては、棚田が治水をしてく  
133 れて水を溜めてくれて、そして自然が調整をしてくれるんです。それこそが人と自然が折  
134 り合って生きてきているという、そういう象徴だと思います。私は、これからの世代、今  
135 子どもたちが、これからこのツケを負っていくような計画に絶対にさせてはいけな  
136 い。道路は造ってしまったら終わりじゃない。でも、造ってしまったらもう環境的には取り返  
137 しはつかない。しかも造ってしまったら、どんどんメンテナンス費用も嵩みます。それ  
138 を全部国民の税金で賄うことになります。そういったものを何百億円もかけて造ってし  
139 まう。そういう傲慢な国の政策をもう少し一から考え直していただきたいと切に願っ  
140 ています。

141

### 142 【公述人3】

143 私も高島市鵜川に在住しています。本日はこのような機会を設けていただきまして、あ  
144 りがとうございます。

145       まず、以前に提出した環境影響評価準備書に対する意見書と本日の公述に当たって提  
146       出した公述内容の概要を読み上げたいと思います。

147       環境影響評価準備書についての意見書。今回の国道 161 号小松拡幅 13 工区事業につい  
148       て、鵜川地区での山側へのルート変更はあまりに大きな現状変更のため、間接ながら棚田  
149       を守ることに携わってきた者として、景観、環境、棚田保全の観点から、断固として反対  
150       です。以前、国道 161 号小松拡幅 13 工区事業環境影響評価準備書を閲覧したところ、景  
151       観資源の鵜川棚田については、景観資源の一部が改変されるが、大部分は残されると書い  
152       てありました。棚田の大部分が残されるため、問題がないではありません。残された大  
153       部分の棚田の中に、コンクリートの巨大構造物が建設されることで、美しい棚田の景観を  
154       損ない、また大量の車が通過することで騒音問題、排気ガス等の公害、それに伴う生態系  
155       の混乱等、環境に多大な影響を及ぼすことは明らかです。

156       また、準備書によりますと、鵜川棚田については、眺望景観に変化が生じると予測され  
157       るため、構造物、道路付属物の検討に当たっては、周辺景観との調和や地域住民に配慮す  
158       る。構造物および道路付属物の形式・デザイン・色彩を検討し周辺景観に調和させること  
159       で、景観への影響を低減できると書いてありました。どんな形式・デザイン・色彩を検討、  
160       採用しても、巨大な構造物が棚田の中を通る限り、滋賀県、そして日本の宝である琵琶湖  
161       と棚田の一体的絶景空間は取り戻せません。また、農林水産省の「つなぐ棚田遺産、ふる  
162       さとの誇りを未来へ」に選定されている名誉ある棚田であるにも関わらず、今回の山側棚  
163       田を通る道路計画は、矛盾が多く相いれがたい関係です。少しオーバーな表現をさせても  
164       らえるなら、これはウクライナとロシアの戦争の映像を想起させるようです。大自然の中  
165       を縦横無尽に走る戦車のごとく、今、生きている人間の利便性を優先した道路計画は、果  
166       たして未来の子どもたちに誇れるものでしょうか。喜んでもらえる姿でしょうか。

167       国道 161 号小松拡幅 13 工区は、滋賀県の代名詞ともなっている雄大な琵琶湖と里山の  
168       原風景ともいえる棚田が広がる風光明媚な場所です。この現存する棚田の風景が私たち  
169       に届けてくれるものは、先祖代々から大切に引き継がれてきた証であり、魂そのものであ  
170       るといふこと。棚田のある場所まで牛を引き、そして田植えをされていた方のお話を聞い  
171       たことがあります。大変な重労働であったことを。そして、お昼には棚田から見渡せる美  
172       しい琵琶湖の景色を見ながらおにぎりを食べたことを。先人たちのご苦労と、棚田の歴史  
173       を後世にも守り伝えていかなければいけないのではないのでしょうか。棚田は、高島の滋賀  
174       県の、そして日本の魂そのものですから。「100 人で食べたいな。富士山の上でおにぎり  
175       を」という歌がありますね。たくさん子どもたちに、この棚田の上で琵琶湖を望みなが  
176       らおにぎりを食べてもらいたい。私たち大人が本当に大切にすべきものを子どもたちに  
177       伝えていかなければいけないのではないのでしょうか。それは環境を無視した便利快適な  
178       ことを優先した姿ではなく、先人の魂を教え、守り伝えていくことではないのでしょうか。  
179       どうか計画変更を再度ご検討ください。どうかよろしく願いいたします。

180       私は鵜川在住と言いましたが、もともとは大阪に住んでいました。初めてこの高島市鵜

181 川に来たときは、敷地内にそれは立派なお寺みたいな建物があるんですが、その記憶はほ  
182 とんどなく、美しく広大な琵琶湖の姿、生まれて初めて見る棚田の美しい姿、これに圧倒  
183 されました。移住してもう 15～16 年になりますが、その時のことをはっきり覚えていま  
184 す。最近の後継者不足で、なかなか棚田が復活できず放棄田もちょっと増えてきました。  
185 私が来た頃は本当に緑の草原のように、鶴川の棚田全面にお米が植えられていて、それは  
186 本当に美しい景色でした。鶴川在住の方々もおそらく賛成ではなく、本当の心の部分では、  
187 この計画は誰一人として賛成していないはずです。ずっと語り継がれ、守り継がれてきた  
188 棚田です。宝物のはずです。

189 以前、鶴川に住んでおられた故人の方が言っていました。「もうずっと、もう何十年も  
190 この景色見ているから、そんなふうにすごいな、美しいなって言ってくれる。そうか、私  
191 はもう毎日見てるからね。」って。私ももう 15～16 年見えていますけど、やっぱり朝起き  
192 て見る琵琶湖は美しいな、空気はおいしいな。やっぱり残さないといけないな、と毎日思  
193 っていて過ごしています。最近特に、フリースクール、子どもたちの活動が、敷地内で行わ  
194 れているということが、その気持ちを強くしました。大人たちの都合で、造られた道路、  
195 これは子どもたちにとって悲劇以外の何物でも無いのではないのでしょうか。この姿はい  
196 ったん壊すと、もう元には戻らない。絶対に守らないといけない。私はそう思います。ど  
197 うか計画の変更をご検討くださいますよう、改めてお願い申し上げます。

198

#### 199 【公述人 4】

200 私も移住者で、今は安曇川に住んでいます。去年 11 月に高島市に引っ越してきました。  
201 市役所に行って住民票を取得して、職員の方に「今日で僕は高島市民に晴れてなれたんで  
202 すね。」と言うと「そうですよ。」と言われたので、「高島市長に挨拶したいんです。」と僕  
203 は言ったんです。町のトップの方に挨拶するというのは、当然かなと、冗談ではなく本気  
204 で思いました。職員の方に「あなたたちはずっとこの高島に住んでいるから、この高島の  
205 良さがもう分からなくなっている。僕は高島が素晴らしいと思ったから移住してきました  
206 ました。」と言いました。どこを見て素晴らしいと思ったかと言うと、3 年くらい前に、この  
207 鶴川の棚田で 1 年間米を作る勉強をさせてもらいました。米をまいて、根が出てきて、そ  
208 の土の中から 1 個 1 個取って、植えていく。1 年間それをずっと 10 人くらいでやってい  
209 ました。そのときに、ぱっと下を見たら、琵琶湖のすごい景色が広がっていて毎回感動す  
210 るんです。こんなところに住みたいなと思って移住してきました。そういうことを、市長  
211 さんも長年、10 年もやられているともう慣れてしまって、この環境が当たり前と思われ  
212 ているのだとしたら、新しく来た人はこんな気持ちで来たんですよ、ということをお伝え  
213 したくて言いました。当たり前ですが、市長はお忙しくされているのでお会いすることは  
214 出来ませんでした。

215 それで、この国道 161 号バイパスの問題は、ルートが変更になったことを知らなかつ  
216 たということです。今日は、環境保全について意見を述べる場ですので、少し的外れかも

217 しれませんが、私は貧困の原因は無知だと思います。例えば、色々な問題の解決がスムーズ  
218 にはいかないのは無知だから。市民の方が無知だからです。無知というのは失礼な言い方  
219 ですが、情報を与えてくれないからではないかと思います。私もふとしたきっかけからこ  
220 の話を聞いて、直前に県の担当の方にも一生懸命聞いて、公述人という制度があり、もし  
221 意見があったら述べてくださいと言われ、急遽、1週間ほど前に公述人になろうと思いま  
222 した。私ももちろん無知です。県のホームページを見ながら事業計画の概要やルート変更  
223 の経緯が書いてある場所を聞いて、もう1人違う課の人にも聞いて、それで今日、公述す  
224 るに当たりいろいろ調べてきました。ここで発表することではないですが、ルートの変更  
225 のことが書かれた資料には、国道161号小松拡幅13工区のうち、私の住む高島市のエリ  
226 アは13工区全体の5分の4くらいです。また、残り5分の1くらいが天津市です。この  
227 工区のほとんどは高島市の話です。無知ということに関して言えば、例えば朽木の方はこ  
228 のことを知っているのでしょうか。ほとんど知らないんじゃないかと思います。公述人2の  
229 方も公聴会があることを聞いたのはちょっと前という感じで、知らない人もいっぱい  
230 いるわけです。こんな大事なことを決めるのに、なんで住民の方、みんなに知らせて、こ  
231 いう問題を、環境問題含めて話し合わないのかなというのが不思議で仕方ないです。コソ  
232 コソしているというと、言葉はちょっと悪いかもしれないけども、住民の方に分からない  
233 ように進める理由があるのであれば、ぜひともその理由を僕は知りたいです。この国道  
234 161号の琵琶湖岸から山側へのルート変更は、滋賀県知事の発言がきっかけで検討がなさ  
235 れたのだと思います。制度等の仕組みは知りませんが、ただ、三日月知事が現地を見学さ  
236 れ、ルート変更を言われたのでは無いと思います。誰かが言って、そうしましょうとい  
237 うスタートを切ったんじゃないかと思います。それであれば、誰かの言うことを聞くのであ  
238 りば、少なくとも、今回私を含めて4人の公述人の発言も聞いていただき、準備書段階で  
239 たまたま公述した4人の意見は、このルート変更はやめて、元のルートで造ってほしいと  
240 いう意見だと思います。僕もそういう意見です。

241 そして、環境とは関係ありませんが、白鬚神社というのはポイントにもなってくると思  
242 い、宮司さんに電話をして聞いてみました。例えば富士山は山自体が御神体です。富士山  
243 信仰というのがあります。奈良県には三輪山というのがあって、山自体が神様です。ある  
244 日一緒に登ると女性の方が裸足で山を登っていました。神様のところに入っていくとき  
245 に、靴なんかとんでもない。裸足で行くんだと。それで、宮司さんに裏の山にトンネルが  
246 開き、道路が通るので、「山は御神体ですか」と聞きました。「御神体では無いけれども、  
247 神域です。」と答えられました。「その前に湖西線のトンネルが既に通っている。」と言わ  
248 れ、ガクッとしましたが、だからといって「もう1本トンネルを通して神域に風穴を開け  
249 るんですか。」とお聞きしたら、「それはいろんな考え方がありますね。」と言われて。宮  
250 司さんは、何となく変更後のルート案に賛成とのことを言われました。だけれども、例え  
251 ば、通過交通と観光交通という、車が通るのに住民の方を含めて通過だけするというのと、  
252 観光の車が通るのを分けて考えるべきです。例えば、琵琶湖に浮かぶ白鬚神社の鳥居は広

253 鳥居の巖島神社の鳥居を思い起こさせます。そういうことを知らない方も、あの道路を通  
254 った際に「こういう景色はすごいな」と思うと思います。水上バイクで鳥居の下を通過す  
255 る人もいますが、車の中から見るあの景観は素晴らしいものです。それが山側にバイパス  
256 を通してしまうとあの景色は道路を走る方から見られなくなるわけですね。何の興味も  
257 無い人も、あれを見て、今回は行けなかったけど今度また行ってみようという気持ちにな  
258 るのであれば、バイパスを通さず現国道を拡幅した方が良いのではないかと思います。宮  
259 司さんと話をしたときに、「僕はこんな意見があるんです。」と言ったのは、例えば4車線  
260 にして、そこに歩道橋を造ります。少し離れた場所でも良いので、スロープは緩くして、  
261 車椅子でも自転車でもお年寄りでも通れるような歩道橋を造り、向こう側に行けるよう  
262 にします。すみません、勝手な空想の話ですが、向こう側に行った先にステージを造って、  
263 ゆっくり写真を撮る、湖を眺めるといような、それを国のお金でやっていただけるので  
264 あれば良いと思います。

265 それでそのホームページ見ていると、現道の拡幅案と山側バイパス案というのがあり、  
266 本日の公述人の4人はバイパス案に反対しています。環境の問題も含め、色々なことで反  
267 対していると思います。それで少しコストを調べてみました。幅はありますが、現道の拡  
268 幅案は80億から130億円、バイパス案は300億から350億円の工事費がかかると書い  
269 てあります。80億と350億で比較するとバイパスにすることで4倍のコストがかかると  
270 いうことです。これはもちろん税金ですから、私も微々たる税金を払っているわけで、国  
271 民の税金を4倍無駄遣いしているわけです。ただ、見方を考えると、4倍の額の工事が発  
272 生するという考え方にもなってくるわけです。だけど、無駄遣いという観点から言うと、  
273 そういう工事はなくてもいいんじゃないかと思えます。ましてや、環境を破壊してまでと  
274 思えます。

275 今日話を聞いて、湖西線を跨ぐ道路をイメージすると、あそこに大きな構造物が現れ  
276 るとすると、もう狂気の沙汰みたいな。どう考えても、冷たいコンクリートの色と棚田の  
277 緑色がマッチするわけがないんです。そしたらやっぱり環境というか、環境といっても心  
278 の環境も私はあると思います。精神的なものも環境に入ってくると思います。そんな建造  
279 物をぱっと見たら、驚くと思います。冒頭にしたように、鶴川で1年間は田んぼをしてい  
280 て、本当に心地よい風が吹いて、雨の日もあったけど、先ほど富士山でおにぎりを食べる  
281 という話がありましたが、鶴川の所で休憩して、また、空気がおいしいんですね。環境と  
282 という意味では、すごく空気がおいしくて、おにぎりを食べてまた作業をして。そんなのを  
283 1年間やっていたところにパッと見たら、すごく巨大な橋桁があって、そこに道路が通っ  
284 ていると想像しただけで本当にぞっとします。やはり、環境というか見た目というか景観  
285 というか、風景というか、そこは本当に大事に考えないといけないことです。三日月知事  
286 がそういうことを考えるのなら1回来ていただいて、あの風景を何回も見てもらって、本  
287 当にルート変更が必要と思われるのであれば、それは知事の考えだから良いのだけれど  
288 も、周りの意見からではなく、やはりご本人が仰ったのであれば仕方ないと思えますが、

289 だけど考え直して。今回の4人の意見を聞くと、そうなんだ。現地に来てもらうのはお忙  
290 しいかもしれないけど、それは担当の方でもいいし、現場に行って意見を聞いてもらって、  
291 市民のためになるのか、市民のためになる工事や計画なのかというのを聞いてほしい。

292 ここに来る途中、「広報たかしま」が駅にあったので貰ってきましたが、「情報はここに  
293 載ってます」という話で済まされるわけです。「皆さんに知らせていますか」と聞くと「こ  
294 こに載っています」と言われるけど、これを隅から隅まで読む人はあまりおらず、ここに  
295 載っているから告知しているという考えはやめていただきたいと思います。高島市は  
296 SNSでも情報を発信しており、私も登録していますので、いろんな情報がSNSで入っ  
297 きます。こういう工事のことも、今、意見が分かれているのか、いないのか、こういうふ  
298 うに変更した。どういう作用が働いて変更した。どういうメリットがあって変更した。お  
299 金は3～4倍もかかるような工事となった。といった色々なことを高島市のSNSで発信  
300 することは出来るはずですよ。おじいさん、おばあさんはSNSを見ないかもしれないけど、  
301 例えば、孫が「今、高島市はこうなっている。こんな工事があるってこうなっている。」と  
302 言ってあげれば、高齢の方からも「なるほど、それはどうかな」といろんな意見が出てく  
303 ると思います。

304 だから、たくさんの意見を聞いて、市民、自分のことだから、ごみの問題もありますが  
305 自分のことですから、毎日真剣に考え、道路のこともごみのことも環境という意味では皆  
306 さん、市民一人ひとりが考えていく必要があると思います。バイパス案は反対です。

307  
308  
309

【以上】